

# 月刊「ワークホームだより」2月号

発行:2026年 1月 26日 発行者:ワークホーム高砂  
〒676-0081 兵庫県高砂市伊保町中筋 1331  
TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111  
<http://workhome-takasago.org/> E-mail [workhome@nifty.com](mailto:workhome@nifty.com)



## やまなみ工房の幸福論

ワークホーム高砂施設長 長谷川博信

昨年12月の全国自閉症支援者協会福井大会にて、滋賀県の障害者支援施設「やまなみ工房」山下完和施設長の講演を聴く機会を得た。利用者の強いこだわりや独自のルーチンを否定せず、個性的な作品の芸術的価値を創造する活動は国内外で注目を集めています。勿論、日々の対応や生活介助、生産性の維持に追われる多くの支援現場で同様の取り組みを実践するのは容易ではない。しかし、山下氏の言葉は、私たちが無意識に縛られている支援の物差しに一石を投じる。

近年の支援は、行動の矯正から特性を強みと捉えるニューロダイバーシティ(脳の多様性)へと舵を切っている。しかし、現場では依然として社会適応と個人の尊厳の狭間で、どのような支援が本人の幸せにつながるのかという葛藤が続いている。このようななか、私は対照的な日本と西欧の二つの幸福な終末の寓話を思い出す。一つは、自らの努力と創意工夫により社会的成功を勝ち取る一寸法師の物語。もう一つは、過酷な放浪の末に、ありのままの自分を受容される居場所「花の国」を見出した親指姫の物語。一寸法師は大きくなることで幸せを掴むが、親指姫は小さなままの姿で幸せを掴む。

例えば、自閉症者の多くは、感覚的な負荷から環境を拒絶することはあるが、本質的に他者との繋がりを拒絶しているわけではない。「障害を克服したい」と「ありのままでいたい」の想いは矛盾なく共存しうる。一方、殆どの就労支援は1時間あたりの生産量が工賃を決定するなど、努力と成果を重視する一寸法師的な幸福論に基づく。だが、1本の線を引くのに1時間をかけるこだわりは、生産性の文脈では「低生産」でも、芸術の文脈では「高尚な創造」へと昇華される。やまなみ工房は、支援者が本人の行動が輝く文脈をいかに見出すかで、その人の物語が変わることを教えてくれる。

一寸法師的な成功の物語も、親指姫的な受容の物語も、どちらも大切な幸福の側面だ。反面、それらは強制的な適応と社会からの隔離の危惧を孕んでいる。山下氏は「そのままでいいんだよ」と優しく語りつつ、利用者の作品を世界に羽ばたかせる、いわば「親指姫が自らの意志で剣を持つ」ような新しい物語を紡ぐ。

支援の現場に唯一の正解はないが、私はそれでも利用者個々に幸福の文脈を見いだしたいと思う。やまなみ工房の取り組みは、私たち人間が互いを認め合い、共に生きるためにヒントを与えてくれる。



## 2月の予定

2月7日(土) 保護者会役員会

2月11日(水) 工賃支給日

## 就労支援フォーラム NIPPON

12月20日・21日に東京ビッグサイトで行なわれた就労支援フォーラム NIPPON2025に長瀬と新山で参加してきました。

B型事業所の取り組み方や枠組みを取つ払った事業展開・施設外就労や障がい当事者の声など様々な話を聞くことができ、とても勉強になる2日間でした。

ただ作業するだけではなく、それぞれに合った目標をしっかりと持ち、私自身常にアップデートしながら利用者さんが輝ける未来のため支援していこうと思いました。

(長瀬)



## ～新任職員紹介～



1月よりワークホーム高砂で働かせていただくことになりました平根海翔(ひらね かいじょう)です。出身は茨城県で28歳です。

去年いっぱい小学1年生から22年間続けたサッカーを引退しました。サッカー中心の人生だったので、分からぬことがあります。体力には自信があります。

少しでも早く仕事を覚えられるように頑張ります。これから宜しくお願いします。

(平根)

今回の担当は新山でした

# 12月 クリスマス会

12月20日に生石研修センターにてクリスマス会を行ないました。

はじめに木田さんによるギター演奏では、練習の成果が十分に発揮されていて素晴らしい演奏でみんな聞き入っていました。また、全員での合唱はみんなの思い出に残ったことでしょう。その後には、マジックショーを全員で観覧し、昼食には毎年恒例の梅はらさんのお弁当をいただきました。

最後に、保護者会で用意してもらったクリスマスプレゼントを皆さんに配布しました。喜んでいる様子を見てることができて職員一同やってよかったなと思う行事になりました。

今後も引き続き楽しい行事が出来たら良いなと思います。  
(吉永)

素敵なプレゼントを  
いただきました♪



絵馬づくり😊



白玉づくり😊



みんなで鹿嶋神社へ



## 1月 新年行事

1月10日に新年最初の行事として今年も鹿嶋神社へ初詣に行きました。今年は去年みんなで抱負を書いた絵馬を奉納させていただきました。本殿でお参りをし、大きなペガサスの絵馬の前で記念撮影を行いました。ワークホームに帰って来てからは新しい絵馬に新年の目標やお願いを書き、白玉団子を作り、ぜんざいにいれてみんなで食べました。皆さん終始良い表情で、新年の最初の行事にふさわしい良い日になったのではないかと思います。今年もワークホーム高砂をよろしくお願ひいたします。  
(重田)

